

グループ紹介

大阪工業大学学園技術士会の紹介

The Presentation of the Professional Engineer's Association of Osaka Institute of Technology

高原 安孝
Takehara Yasutaka

1 はじめに

本大学では1967年に技術士会を設立し、2007年度までに累計861名の合格者を輩出するに至りました。このことは、フジサンケイ ビジネスアイ（日本工業新聞社）2007年9月1日に「大学系最多の会員800人突破」の見出しで紹介されました。先輩技術士の諸兄がボランティアで実務型エンジニアの育成に今まで精力的に指導されてきたことが大きな要因であると考えています。

本年9月22日の通常総会、特別講演会（講師：吉川眞教授（大阪工大 都市デザイン工学科）「空間情報技術（G-IT）を活用した都市デザインと景観デザイン」）の後に、技術士会員800名突破記念祝賀会が本学会員諸氏も参加して盛大に行われました。（写真1、2）



写真1 会長挨拶

2 沿革・組織と活動状況

大阪工業大学の建学の精神は、専門技術を発揮し社会貢献のために活躍できる実務型エンジニアの育成であります。そのため卒業生は、理工学系の最高位の資格である技術士取得を大きな目標としてきました。1967年「大阪工業大学学園

技術士会」と命名され発足した本学技術士会は、設立当初より技術士取得指導をスタートさせ、1985年200名、1998年400名と順調に合格者を増やし今日に至ったものです。

組織は会長（高原安孝）、副会長4名、監査役（米田理之助）で構成され、4名の副会長は実務を行なう部会を担当しています。

総務部会（今田憲夫副会長）総会・総務を担当、企画部会（安藤増実副会長）受験ゼミを担当、事業部会（松下幸裕副会長）講演会・講習会を担当、財務・会計部会（杉森克巳副会長）会計を担当、の4部会がおかれています。

活動は、受験ゼミを年2回、CPDのための講演会を年1回程度、および地域交流、意見交換会を年数回行なっています。



写真2 特別講演会

3 本学技術士会の目的と活動方針

社会の動向の変化とともに、我々技術士の社会貢献に対する役割と責任、技術士のあるべき姿も問われる時代になりました。技術士は、取得・登録がゴールではなくスタートであり、技術士としての専門性を風化させないため、社会のニーズ、新技術、新規分野、法改正、職業倫理などCPDは重要です。

本学技術士会の目的は、会員相互の連携を図り、本学の発展に寄与することであり、同時に、学内技術者の技術向上並びに地域産業界との交流を深め、産官学連携を推進し社会に貢献することです。

以下に活動方針を掲げます。

① 技術士資格取得支援

将来の優れた技術者の育成に努める。

② 講演会などを通じたCPD支援

本学での研究成果について学内外の講師を招聘して講演会を開催し、技術の向上に資するよう努めていく。

③ 技術向上・職業倫理の相互啓発

会員相互のネットワークにより積極的な情報交換をおこない、職業倫理の重大性を相互に啓発する。

④ 産官学会員相互の交流と自由な意見交換

産官学の技術的支援と他大学技術士会との交流の場を広げる。

4 会員の状況

会員は、建設部門、上下水道部門、電気電子部門、機械部門、総合技術監理部門、衛生工学部門など多くの部門にわたっています。

表1 部門別技術士数

部門	人数	部門	人数
機械	24	水産	1
電気電子	48	経営工学	9
金属	3	情報工学	5
建設	455	応用理学	5
上下水道	162	環境	2
衛生工学	14	総合技術監理	123
農業	10	合計	861

注) 各部門で複数科目合格している人は、総合技術管理を除きダブルカウントせず1部門1名として計上。

5 会員活動の支援

学園技術士会は、社会の要請に配慮し、地域社会への貢献、防災対策、NPO活動、海外シルバーボランティア等への社会貢献を目指す団体に成長

したいと願っています。今日的な色々な話題について、現役で活躍している方、およびリタイアされた方と広い視点で語りあえる一種のワイズマンクラブのような団体になればと考えています。

会員は個々にさまざまな活動をしており、その一部を紹介します。

数グループがビオトープによる自然修復活動に参加しています。ミミズを活用した生ゴミ処理など環境保全に関わるユニークなNPOを設立している技術士、地域のまちづくり協議会に都市計画の専門家として参画する技術士、明石海峡大橋の建設に携わったことから「橋のマイスター」として国内外からの見学者のガイド役を務める技術士など、それぞれに独自のボランティア活動を行なっています。

本学技術士会は「ノープレス オブリージュ」をモットーにCPDに努め、会員の資質を向上しながら今後共、会員各位の社会貢献を支援していく方針です。

6 おわりに

技術士の課題は、他の国家資格である医師、弁護士、一級建築士などに比較し認知度、社会的知名度が低いことです。国民の信用・信頼を集め社会的地位を向上するために、本校技術士会会員各位には（社）日本技術士会への入会を啓発しています。

<参考資料>

- 1) フジサンケイ ビジネスアイ「大学系最多の会員800人突破」2007.9.1
- 2) 日刊建設工業新聞, 2007.9.26
- 3) 大阪工業大学学園技術士会HP, <http://www.gijutusi-kai.org/index.html>

高原 安孝 (たけはら やすたか)
技術士（建設/総合技術監理部門）

土木学会フェロー会員
大阪工業大学学園技術士会 会長
中央復建コンサルタンツ(株)元常務取締役
e-mail : takehara_y@cfk.co.jp

